

「市沢に生き、共に輝く子」

学校長 白岩 敬之



最近、春休みに満開を迎える青門の桜

春の光が心地よい季節となり、令和8年度が始まりました。進級した子どもたちの明るい声が校舎に響き、学校に活気が戻ってきました。保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学・ご進級、心よりお祝い申し上げます。本日、新1年生を迎え、市沢小学校の子どもたち全員が、新年度のスタートを切ります。

私が市沢小学校に赴任して2年目となりました。昨年度、多くの保護者や地域の皆様と関わる中で、市沢のあたたかさや、子どもたちを大切に見守る文化を強く感じました。行事や登下校の見守り、日々のあいさつなど、子どもたちを中心に人と人がつながっている姿は、市沢小学校の大きな魅力です。

本校の教育目標は「市沢に生き、共に輝く子」です。今年度のスタートにあたり、私は特に「共に輝く子」という言葉を大切にしていきたいと考えています。子どもたち一人一人がもつよさや可能性はそれぞれ異なります。その子らしい輝きは、友達や先生、地域の方々との関わりの中でこそ引き出されていきます。喜び合い、支え合い、互いを認め合いながら成長する——そんな学校生活の中で、子どもたちは本当の意味で輝くことができるのだと思います。

学校は、子どもたちにとって安心できる場所でなければなりません。「自分は大切にされている」「ここにいていい」と感じられる毎日の積み重ねが、挑戦する勇気や、他者を思いやる心につながっていきます。今年度も、すべての子どもが安心して過ごし、自分らしく力を発揮できる学校づくりを、教職員一同で進めてまいります。

子どもたちの成長は、学校だけでなく、ご家庭や地域との連携によって支えられています。今年度も、子どもたちを真ん中に、保護者の皆様、地域の皆様と手を取り合いながら、「共に輝く」一年にしていきたいと考えております。引き続き、温かいご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



3月にPTA花植えボランティアさんが植えてくださった体育館前の花壇のお花